令和４年度

厚岸町公営企業会計決算審査意見書

厚岸町水道事業会計決算

厚岸町病院事業会計決算

厚岸町監査委員

厚　　監

令和５年８月２５日

厚岸町長　若　狭　　靖　様

厚岸町監査委員　黒　田　庄　司

厚岸町監査委員　桂　川　　実

令和４年度厚岸町公営企業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第３０条第２項の規定により審査に付された、令和４年度厚岸町水道事業会計及び令和４年度厚岸町病院事業会計歳入歳出決算について審査したので、別紙のとおり審査意見書を提出します。

令和４年度厚岸町公営企業会計決算審査意見書

１．審査の対象

令和４年度厚岸町水道事業会計決算

２．審査の期間

事前審査　　令和５年６月２３日（金）～７月　７日（金）
内容審査　　令和５年７月２０日（木）　１日間

３．審査のため町長から提出された書類

（１）事業報告書

令和４年度厚岸町水道事業報告書

１　概況
２　工事
３　業務
４　会計

（２）決算報告書

ア　令和４年度厚岸町水道事業決算報告書

（３）財務諸表

ア　令和４年度厚岸町水道事業損益計算書
イ　令和４年度厚岸町水道事業剰余金計算書
ウ　令和４年度厚岸町水道事業剰余金処分計算書（案）
エ　令和４年度厚岸町水道事業貸借対照表

（４）附属明細書

ア　令和４年度厚岸町水道事業キャッシュ・フロー計算書
イ　収益費用明細書
ウ　固定資産明細書
エ　企業債明細書
オ　その他決算資料

４．審査の方法

令和４年度厚岸町水道事業会計の決算審査は、提出された事業報告書、決算報告書及び財務諸表等に基づき計数の正確性をただし、関係諸帳簿等の照合を行い、決算諸表の財務状況、経営状況及び予算執行の適否等について内容の説明を求め実施した。

また、貯蔵品については期末たな卸立会検査を実施し確認済みであり、現金・預金についても、例月出納検査を毎月実施しているので対象外とした。

５．審査の結果

審査に付された水道事業会計の事業報告書、決算報告書並びに財務諸表等は、いずれも地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、令和５年３月31日現在における財務状況及び経営成績は適正に表示されているものと認められた。

なお、決算審査の概要は、次のとおりである。

（１）予算の執行状況

ア　収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の決算額については、消費税及び地方消費税抜き額の収入は 289,526,207円、消費税及び地方消費税込み額の収入は 315,096,039円となっている。

※　以下、消費税及び地方消費税込み額は(　　)書とし、「消費税及び地方消費税抜き額」と「消費税及び地方消費税込み額」が同じ数値の場合は(同)と記載した。
　また、パーセントは小数点以下第２位を四捨五入しているため、記載数値を合計しても合計値と一致しないものもある。

支出については 265,651,470円(278,336,620円)の決算額となっている。

前年度と比較して、収入では 24,181,832円(26,234,588円)、9.1%(同)の増となり、支出においては 4,515,381円 (1,334,779円)、1.7% (0.5%)の減となっている。

予算額に対する執行状況は、収入予算額311,471,000円に対し93.0%(101.2%)の執行率で、支出は予算額 278,405,000円に対し 95.4%(100.0%)という執行率となっている。

なお、収益的収支の状況は、次表のとおりである。

収　益　的　収　支　の　状　況

（単位：円・%）

区分		予算額	決算額	執行率		予算額に比べ決算額の増減及び不用額
				令和３年度	令和４年度	
収入	水道事業収益	311,471,000	(315,096,039) 289,526,207	(101.1) 92.9	(101.2) 93.0	(3,625,039) △ 21,944,793
	営業収益	277,646,000	(281,268,150) 255,698,318	(101.3) 92.0	(101.3) 92.1	(3,622,150) △ 21,947,682
	営業外収益	33,825,000	(33,827,889) 33,827,889	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(2,889) 2,889
支出	水道事業費用	278,405,000	(278,336,620) 265,651,470	(98.1) 94.7	(100.0) 95.4	(68,380) 12,753,530
	営業費用	261,249,000	(258,161,023) 248,729,579	(98.0) 94.6	(98.8) 95.2	(3,087,977) 12,519,421
	営業外費用	16,956,000	(20,175,597) 16,921,891	(100.5) 98.5	(119.0) 99.8	(△ 3,219,597) 34,109
	予備費	200,000	(0) 0	(－) －	(－) －	(200,000) 200,000
当年度純利益		－	(36,759,419) 23,874,737	－	－	－

イ　資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の決算額は、収入86,465,150円(88,851,664円)、支出223,020,414円(236,747,215円)であり、予算額に対する執行状況は、収入予算額88,408,000円に対し97.8%(100.5%)の執行率で、支出は予算額 238,041,000円に対し 93.7%(99.5%)の執行率となっている。

資本的収支の状況は、次表に示すとおりであるが、資本的支出の項別では建設改良費 137,268,018円(150,994,819円)、企業債償還金 85,203,396円(同)、返還金 549,000円 (同) となっている。

建設改良費の内訳は、導配水管整備事業として配水管布設替工事４件27,800,000円(30,580,000円)、配水管新設工事１件 6,580,000円(7,238,000円)、仕切弁整備工事１件 2,840,000円(3,124,000円)、ホマカイ橋橋梁添架管防護工事１件 19,450,000円 (21,395,000円)、メーター設備事業として新設18台、撤去44台、取替え531台で 45,729,020円(50,301,922円)を実施、固定資産購入としてコンテナ一式 984,000円 (1,082,400円) 、蓄電池 560,000円 (616,000円)、パソコン 225,000円 (247,500円) を購入、配水管基本設計委託業務として 6,500,000円 (7,150,000円) 、配水管更新実施設計委託業務として 4,850,000円 (5,335,000円)、上水道地区地下水源調査委託業務として上水道地区地下水源調査委託業務 16,600,000円 (18,260,000円)、上水道地区地下水源検討委託業務 2,000,000円 (2,200,000円) となっている。

企業債償還金の内訳は、財務省 27,565,834円(同)、地方公共団体金融機構 57,637,562円(同)で、本年度末企業債残高については 1,128,118,639円(同)、未償還総件数 59件である。

以上により、資本的収支差引額は 136,555,264円(147,895,551円)の収入不足を生じたことから、不足する額については当年度分損益勘定留保資金102,619,731円(同)、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 0円(11,340,287円)、減債積立金 8,588,000円(同)及び建設改良積立金 25,347,533円(同)で補てん処理をしている。

資 本 的 収 支 の 状 況

（単位：円・％）

区分		予算額	決算額	執行率 令和３年度	執行率 令和４年度	予算額に比べ決算額の増減及び不用額
収入	資本的収入	88,408,000	(88,851,664) 86,465,150	(100.0) 100.0	(100.5) 97.8	(443,664) △ 1,942,850
	企業債	62,600,000	(62,600,000) 62,600,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	道補助金	2,558,000	(3,003,000) 2,730,000	(100.0) 100.0	(117.4) 106.7	(445,000) 172,000
	補償金	2,103,000	(2,102,386) 1,911,260	(100.0) 100.0	(100.0) 90.9	(△ 614) △ 191,740
	他会計負担金	21,147,000	(21,146,278) 19,223,890	(100.0) 100.0	(100.0) 90.9	(△ 722) △ 1,923,110
支出	資本的支出	238,041,000	(236,747,215) 223,020,414	(99.8) 94.2	(99.5) 93.7	(1,293,785) 15,020,586
	建設改良費	152,288,000	(150,994,819) 137,268,018	(99.6) 90.6	(99.2) 90.1	(1,293,181) 15,019,982
	企業債償還金	85,204,000	(85,203,396) 85,203,396	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(604) 604
	返還金	549,000	(549,000) 549,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
差引額		－	(△ 147,895,551) △ 136,555,264	－	－	－

（２）経営状況

本年度の収益は 289,526,207円(315,096,039円)、費用は 265,651,470円(278,336,620円)で、差引額 23,874,737円の当年度純利益が生じている。(税込みでは 36,759,419円の純利益)

収益及び費用について前年度と比較すると、収益は24,181,832円(26,234,588円)、9.1％(同)の増、費用は 4,515,381円 (1,334,779円)、1.7％ (0.5％) の減となっている。

当年度事業にかかる給水人口は 7,753人で、前年度に比較すると 196人(2.5％)の減、給水戸数は 5,141戸で、前年度に比較すると26戸(0.5％)の減であり、

配水量では 1,216,091㎥で、前年度に比較すると53,883㎥(4.2%)の減となり、有収水量は 817,464㎥で、前年度比で20,719㎥(2.5%)減少している。有収率は67.2%で前年に比較すると1.8%増加しているが、引き続き的確な漏水対策を強化するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新整備等更なる有収率の向上を図ることが求められる。

水道業務にかかわる職員数については、令和５年３月31日現在事務職員２人、技術職員１人の計３人で、前年度同様の体制となっている。

水道事業収益のうち、給水収益は 255,186,318円(280,704,950円)で、前年度と比較すると 20,489,665円(22,538,630円)、8.7%(同)の増となっている。

当年度の使用水量の用途別構成比は、家事用 61.9%、業務用 33.2%、農業用 4.6%、浴場営業用 0.2%、臨時用 0.1%となっている。

なお、年度別経営成績の推移については、次表のとおりである。

経　営　成　績　の　推　移

（単位：円・%）

年　　度	収　　益　（A）		費　　用　（B）		純　利　益
	決　算　額	前年比	決　算　額	前年比	（A）－（B）
平成２５年度	（ 253,623,641 ）	（ △ 1.6 ）	（ 237,719,050 ）	（ △ 4.4 ）	（ 15,904,591 ）
	241,518,814	△ 1.6	234,761,262	△ 2.8	6,757,552
平成２６年度	（ 286,872,157 ）	（ 13.1 ）	（ 253,030,508 ）	（ 6.4 ）	（ 33,841,649 ）
	260,464,561	7.8	248,574,124	5.9	11,890,437
平成２７年度	（ 280,879,316 ）	（ △ 2.1 ）	（ 273,685,068 ）	（ 8.2 ）	（ 7,194,248 ）
	261,666,989	0.5	260,308,437	4.7	1,358,552
平成２８年度	（ 284,333,987 ）	（ 1.2 ）	（ 278,607,038 ）	（ 1.8 ）	（ 5,726,949 ）
	264,892,348	1.2	265,500,353	2.0	△ 608,005
平成２９年度	（ 309,892,137 ）	（ 9.0 ）	（ 272,926,726 ）	（ △ 2.0 ）	（ 36,965,411 ）
	289,339,420	9.2	258,217,895	△ 2.7	31,121,525
平成３０年度	（ 310,240,610 ）	（ 0.1 ）	（ 262,236,442 ）	（ △ 3.9 ）	（ 48,004,168 ）
	289,793,884	0.2	249,778,892	△ 3.3	40,014,992
令和 元 年度	（ 300,881,142 ）	（ △ 3.0 ）	（ 274,120,897 ）	（ 4.5 ）	（ 26,760,245 ）
	278,845,295	△ 3.8	265,047,672	6.1	13,797,623
令和 ２ 年度	（ 296,518,851 ）	（ △ 1.4 ）	（ 276,601,614 ）	（ 0.9 ）	（ 19,917,237 ）
	273,309,650	△ 2.0	264,127,306	△ 0.3	9,182,344
令和 ３ 年度	（ 288,861,451 ）	（ △ 2.6 ）	（ 279,671,399 ）	（ 1.1 ）	（ 9,190,052 ）
	265,344,375	△ 2.9	270,166,851	2.3	△ 4,822,476
令和 ４ 年度	（ 315,096,039 ）	（ 9.1 ）	（ 278,336,620 ）	（ △ 0.5 ）	（ 36,759,419 ）
	289,526,207	9.1	265,651,470	△ 1.7	23,874,737

ア　収益

収益の総額は 289,526,207円(315,096,039円)で、内容については営業収益で255,698,318円(281,268,150円)、前年度比較20,529,665円(22,582,630円)、8.7%(同)の増となっている。内訳は、給水収益が 255,186,318円（280,704,950円）で前年度比較 20,489,665円（22,538,630円)、8.7%（同）の増であったが、これは令和４年４月１日からの料金改定に伴うもので、改定により前年度比10.8%の増を見込んでいたが、使用水量の減少により見込を下回っている。収益における構成比の88.1%(89.1%)を占め、受託工事収益が 512,000円(563,200円)で、構成比0.2%(同)となっている。営業外収益は 33,827,889円(同)で、前年度比較 3,652,167円(3,651,958円)、12.1%(同)の増となっている。内訳は、受取利息及び配当金 14,782円(同)、1.1%（同）増、他会計

補助金 19,033,889円(同)、58.5%(同)増、長期前受金戻入11,648,418円(同)、32.0%(同)減、雑収益 3,130,800円(同)、203.9%(同)の増である。

なお、収益の内訳については、次表のとおりである。

収　益　の　内　訳

(単位：円・%)

区分		令和３年度（A）		令和４年度（B）		差引（B）－（A）	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
営業収益	給水収益	(258,166,320)	(89.4)	(280,704,950)	(89.1)	(22,538,630)	(8.7)
		234,696,653	88.4	255,186,318	88.1	20,489,665	8.7
	受託工事収益	(519,200)	(0.2)	(563,200)	(0.2)	(44,000)	(8.5)
		472,000	0.2	512,000	0.2	40,000	8.5
	小計	(258,685,520)	(89.6)	(281,268,150)	(89.3)	(22,582,630)	(8.7)
		235,168,653	88.6	255,698,318	88.3	20,529,665	8.7
営業外収益	受取利息及び配当金	(14,627)	(0.0)	(14,782)	(0.0)	(155)	(1.1)
		14,627	0.0	14,782	0.0	155	1.1
	他会計補助金	(12,007,000)	(4.2)	(19,033,889)	(6.0)	(7,026,889)	(58.5)
		12,007,000	4.5	19,033,889	6.6	7,026,889	58.5
	長期前受金戻入	(17,123,984)	(5.9)	(11,648,418)	(3.7)	(△ 5,475,566)	(△ 32.0)
		17,123,984	6.5	11,648,418	4.0	△ 5,475,566	△ 32.0
	雑収益	(1,030,320)	(0.4)	(3,130,800)	(1.0)	(2,100,480)	(203.9)
		1,030,111	0.4	3,130,800	1.1	2,100,689	203.9
	小計	(30,175,931)	(10.4)	(33,827,889)	(10.7)	(3,651,958)	(12.1)
		30,175,722	11.4	33,827,889	11.7	3,652,167	12.1
計		(288,861,451)	(100.0)	(315,096,039)	(100.0)	(26,234,588)	(9.1)
		265,344,375	100.0	289,526,207	100.0	24,181,832	9.1

イ　費用

費用の総額は 265,651,470円(278,336,620円)で、その内容は営業費用248,729,579円(258,161,023円)で、前年度に比較すると 3,115,272円(2,813,676円)、1.2%(1.1%)の減、営業外費用については 16,921,891円(20,175,597円)で、前年度に比較して税抜きでは 1,400,109円、7.6%の減、税込みでは(1,478,897円)、(7.9%) の増となっている。

費用の内訳については、次表のとおりである。

費　用　の　内　訳

(単位：円・%)

区分		令和３年度（A）		令和４年度（B）		差引（B）－（A）	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
営業費用	原水及び浄水費	(76,511,725)	(27.4)	(86,046,479)	(30.9)	(9,534,754)	(12.5)
		70,892,125	26.2	79,768,634	30.0	8,876,509	12.5
	配水及び給水費	(16,630,341)	(5.9)	(17,681,467)	(6.4)	(1,051,126)	(6.3)
		15,134,359	5.6	16,082,117	6.1	947,758	6.3
	総係費	(38,846,134)	(13.9)	(40,164,928)	(14.4)	(1,318,794)	(3.4)
		37,271,868	13.8	38,610,679	14.5	1,338,811	3.6
	減価償却費	(114,653,845)	(41.0)	(110,584,182)	(39.7)	(△ 4,069,663)	(△ 3.5)
		114,653,845	42.4	110,584,182	41.6	△ 4,069,663	△ 3.5
	資産減耗費	(14,332,654)	(5.1)	(3,683,967)	(1.3)	(△ 10,648,687)	(△ 74.3)
		13,892,654	5.1	3,683,967	1.4	△ 10,208,687	△ 73.5
	小計	(260,974,699)	(93.3)	(258,161,023)	(92.8)	(△ 2,813,676)	(△ 1.1)
		251,844,851	93.2	248,729,579	93.6	△ 3,115,272	△ 1.2
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	(17,985,764)	(6.4)	(16,648,967)	(6.0)	(△ 1,336,797)	(△ 7.4)
		17,985,764	6.7	16,648,967	6.3	△ 1,336,797	△ 7.4
	消費税及び地方消費税	(374,700)	(0.1)	(3,382,500)	(1.2)	(3,007,800)	(802.7)
		－	－	－	－	－	－
	雑支出	(336,236)	(0.1)	(144,130)	(0.1)	(△ 192,106)	(△ 57.1)
		336,236	0.1	272,924	0.1	△ 63,312	△ 18.8
	小計	(18,696,700)	(6.7)	(20,175,597)	(7.2)	(1,478,897)	(7.9)
		18,322,000	6.8	16,921,891	6.4	△ 1,400,109	△ 7.6
計		(279,671,399)	(100.0)	(278,336,620)	(100.0)	(△ 1,334,779)	(△ 0.5)
		270,166,851	100.0	265,651,470	100.0	△ 4,515,381	△ 1.7

（３）財政状況

ア　資産

資産総体の当年度末現在高は 2,099,686,021円で、前年度に比較して23,840,970円、1.1％の増となっている。

固定資産の当年度末現在高は 1,922,211,065円で、前年度に比較して22,999,869円、1.2％の増、内訳は、有形固定資産 1,870,922,187円で、資産に占める割合は89.1％であり、前年度から 24,338,902円、1.3％の増、無形固定資産は 51,288,878円で、資産に占める割合は 2.4％であり、前年度から1,339,033円、2.5％減となっている。

流動資産の当年度末現在高は 177,474,956円で、前年度に比較して841,101円、0.5％の増となっており、内容については、現金・預金 135,765,022円、0.6％の減、未収金 32,652,825円、10.1％の増、貯蔵品は 9,057,109円、13.1％の減となっている。未収金については、使用料以外には受託工事収益が 35,200円、道補助金が 3,003,000円で、使用料未収金は現年度分の未収金 25,192,150円は、前年度 22,952,580円に比べ 2,239,570円増、過年度未収金 4,422,475円は、前年度 5,158,105円に比べ 735,630円減となっており、引き続き未収金の解消と収入確保に企業努力を求めるものである。

イ　負債

固定負債の当年度末現在高は 1,050,270,544円で、前年度に比較して21,120,628円、2.0％の減となっており、内訳は企業債 1,042,226,047円で、23,292,592円、2.2％の減、引当金は 8,044,497円で、2,171,964円、37.0％の増となっている。

流動負債の当年度末現在高は 104,685,817円で、前年度に比較して 9,419,129円、9.9％の増となっている。

その要因は、主に未払金が 16,678,786円、前年度に比較して 8,695,274円、108.9％の増となったことによる。

繰延収益は 277,428,602円で、前年度に比較して 11,667,732円、4.4％の増となっている。

ウ　資本金・剰余金

資本金の当年度末現在高は 547,673,759円で、前年度剰余金処分により組み入れた 39,247,873円、7.7％の増によるものである。

また、剰余金の当年度末現在高は 119,627,299円で、前年度に比較して15,373,136円、11.4％の減となっている。

その内訳は、資本剰余金 24,549,641円は前年度と変わらないが、利益剰余金が 95,077,658円で、前年度に比較して 15,373,136円、13.9％の減となっている。

なお、水道事業比較損益計算書、水道事業比較貸借対照表の前年度比較は、資料第１表及び資料第２表のとおりである。

（４）むすび

以上、令和４年度厚岸町水道事業会計決算における内容の確認と諸計数の審査を行ったところであるが、総体的に次のとおり審査意見を申し上げる。

厚岸町水道事業会計は年々厳しさを増している中にあって、その主な要因としては近年の厚岸町全体の人口減少の進行によって家事用使用水量が着実に減少していることに加えて、町の主要産業活動、とりわけ水産業の漁獲生産動向が連続して振るわず業務用使用水量も大幅に落ち込む状況となっており、それらに伴う営業収益も縮減を余儀なくされている一方、経費面では水道管や施設設備の経年老朽化に伴う有収水量及び有収率が低下する状況となっているため計画的な更新作業や修繕作業に注力しているが、その額も年々増えざるを得ず、動力費や燃料費などの経常運営経費の単価上昇やコロナ状況も加わって、諸経費の節減努力にも限界があり、今後の事業経営全体の独立採算性が予断を許さない状況となってきている。

それらの状況を打開すべく令和４年度から新たに水道料金を改定したところであり、令和４年度水道事業会計決算においては、その給水収益を前年度比１０％超を見込んだところ、家事用使用水量が伸びず、結果として８．７％増に止まり、動力費、燃料費をはじめとする諸物価高騰による経常運営経費の急増もあって、最終的には２，４００万円ほどの黒字回復をもって決算したところである。

なお、今後については、令和４年度を始期として１０年間の経営方針を示した「厚岸町水道事業経営戦略」に沿って企業経営上の喫緊の課題である有収水量の確保と有収率の向上対策の強化や水道料金等の過年度未収金の解消などに注力するのは当然であるが、更なる企業経営の安定と給水収益の向上のためには厚岸町全体としての根本的な行政課題である人口減少問題に対して真剣に向き合い、その対応に取り組んでいくことが肝要である。また、ややもすると収益採算性に重点を置くあまりに住民サービスレベルと町民生活満足度を著しく低下させることのないよう、厚岸町一般会計と水道政策としての各種経費分担の適正化などを綿密に協議連携を取り進め、公営企業としての事業経営の安定と町民サービスの向上に努められたい。

資料第１表

水道事業比較損益計算書

（単位：円・％）

項目	令和３年度（A）		令和４年度（B）		差引（B）－（A）	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
１営業収益	(258,685,520)	(100.0)	(281,268,150)	(100.0)	(22,582,630)	(8.7)
	235,168,653	100.0	255,698,318	100.0	20,529,665	8.7
(1) 給水収益	(258,166,320)	(99.8)	(280,704,950)	(99.8)	(22,538,630)	(8.7)
	234,696,653	99.8	255,186,318	99.8	20,489,665	8.7
(2) 受託工事収益	(519,200)	(0.2)	(563,200)	(0.2)	(44,000)	(8.5)
	472,000	0.2	512,000	0.2	40,000	8.5
２営業費用	(260,974,699)	(100.0)	(258,161,023)	(100.0)	(△ 2,813,676)	(△ 1.1)
	251,844,851	100.0	248,729,579	100.0	△ 3,115,272	△ 1.2
(1) 原水及び浄水費	(76,511,725)	(29.3)	(86,046,479)	(33.3)	(9,534,754)	(12.5)
	70,892,125	28.1	79,768,634	32.1	8,876,509	12.5
(2) 配水及び給水費	(16,630,341)	(6.4)	(17,681,467)	(6.8)	(1,051,126)	(6.3)
	15,134,359	6.0	16,082,117	6.5	947,758	6.3
(3) 総係費	(38,846,134)	(14.9)	(40,164,928)	(15.6)	(1,318,794)	(3.4)
	37,271,868	14.8	38,610,679	15.5	1,338,811	3.6
(4) 減価償却費	(114,653,845)	(43.9)	(110,584,182)	(42.8)	(△ 4,069,663)	(△ 3.5)
	114,653,845	45.5	110,584,182	44.5	△ 4,069,663	△ 3.5
(5) 資産減耗費	(14,332,654)	(5.5)	(3,683,967)	(1.4)	(△ 10,648,687)	(△ 74.3)
	13,892,654	5.5	3,683,967	1.5	△ 10,208,687	△ 73.5
差引（１－２）	(△ 2,289,179)	(－)	(23,107,127)	(－)	(25,396,306)	(1,109.4)
	△ 16,676,198	－	6,968,739	－	23,644,937	141.8
３営業外収益	(30,175,931)	(100.0)	(33,827,889)	(100.0)	(3,651,958)	(12.1)
	30,175,722	100.0	33,827,889	100.0	3,652,167	12.1
(1) 受取利息及び配当金	(14,627)	(0.0)	(14,782)	(0.0)	(155)	(1.1)
	14,627	0.0	14,782	0.0	155	1.1
(2) 他会計補助金	(12,007,000)	(39.8)	(19,033,889)	(56.3)	(7,026,889)	(58.5)
	12,007,000	39.8	19,033,889	56.3	7,026,889	58.5
(3) 長期前受金戻入	(17,123,984)	(56.7)	(11,648,418)	(34.4)	(△ 5,475,566)	(△ 32.0)
	17,123,984	56.7	11,648,418	34.4	△ 5,475,566	△ 32.0
(4) 雑収益	(1,030,320)	(3.4)	(3,130,800)	(9.3)	(2,100,480)	(203.9)
	1,030,111	3.4	3,130,800	9.3	2,100,689	203.9
４営業外費用	(18,696,700)	(100.0)	(20,175,597)	(100.0)	(1,478,897)	(7.9)
	18,322,000	100.0	16,921,891	100.0	△ 1,400,109	△ 7.6
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	(17,985,764)	(96.2)	(16,648,967)	(82.5)	(△ 1,336,797)	(△ 7.4)
	17,985,764	98.2	16,648,967	98.4	△ 1,336,797	△ 7.4
(2) 消費税及び地方消費税	(374,700)	(2.0)	(3,382,500)	(16.8)	(3,007,800)	(802.7)
		0.0		0.0	0	－
(3) 雑支出	(336,236)	(1.8)	(144,130)	(0.7)	(△ 192,106)	(△ 57.1)
	336,236	1.8	272,924	1.6	△ 63,312	△ 18.8
差引（３－４）	(11,479,231)	(－)	(13,652,292)	(－)	(2,173,061)	(18.9)
	11,853,722	－	16,905,998	－	5,052,276	42.6
当年度純利益（△純損失）	(9,190,052)	(－)	(36,759,419)	(－)	(27,569,367)	(300.0)
	△ 4,822,476	－	23,874,737	－	28,697,213	595.1

資料第２表

水道事業比較貸借対照表（消費税抜）

（単位：円・％）

項　　目	令和３年度（A）		令和４年度（B）		差引（B）－（A）	
	決　算　額	構成比	決　算　額	構成比	増　　減	増減率
１固定資産	1,899,211,196	91.5	1,922,211,065	91.5	22,999,869	1.2
(1)　有形固定資産	1,846,583,285	89.0	1,870,922,187	89.1	24,338,902	1.3
(2)　無形固定資産	52,627,911	2.5	51,288,878	2.4	△ 1,339,033	△ 2.5
２流動資産	176,633,855	8.5	177,474,956	8.5	841,101	0.5
(1)　現金・預金	136,549,296	6.6	135,765,022	6.5	△ 784,274	△ 0.6
(2)　未　収　金	29,667,665	1.4	32,652,825	1.6	2,985,160	10.1
(3)　貯　蔵　品	10,416,894	0.5	9,057,109	0.4	△ 1,359,785	△ 13.1
資産合計	2,075,845,051	100.0	2,099,686,021	100.0	23,840,970	1.1
３固定負債	1,071,391,172	51.6	1,050,270,544	50.0	△ 21,120,628	△ 2.0
(1)企　業　債	1,065,518,639	51.3	1,042,226,047	49.6	△ 23,292,592	△ 2.2
(2)引　当　金	5,872,533	0.3	8,044,497	0.4	2,171,964	37.0
４流動負債	95,266,688	4.6	104,685,817	5.0	9,419,129	9.9
(1)企　業　債	85,203,396	4.1	85,892,592	4.1	689,196	0.8
(2)未　払　金	7,983,512	0.4	16,678,786	0.8	8,695,274	108.9
(3)引　当　金	1,521,350	0.1	1,562,999	0.1	41,649	2.7
(4)預　り　金	558,430	0.0	551,440	0.0	△ 6,990	△ 1.3
５繰延収益	265,760,870	12.8	277,428,602	13.2	11,667,732	4.4
６資本金	508,425,886	24.5	547,673,759	26.1	39,247,873	7.7
(1)　自己資本金	508,425,886	24.5	547,673,759	26.1	39,247,873	7.7
７剰余金	135,000,435	6.5	119,627,299	5.7	△ 15,373,136	△ 11.4
(1)　資本剰余金	24,549,641	1.2	24,549,641	1.2	0	0.0
(2)　利益剰余金	110,450,794	5.3	95,077,658	4.5	△ 15,373,136	△ 13.9
ア減債積立金	18,588,296	0.9	10,000,296	0.5	△ 8,588,000	△ 46.2
イ建設改良積立金	27,413,192	1.3	2,065,659	0.1	△ 25,347,533	△ 92.5
ウ当年度未処分利益剰余金	64,449,306	3.1	83,011,703	4.0	18,562,397	28.8
負債・資本・剰余金合計	2,075,845,051	100.0	2,099,686,021	100.0	23,840,970	1.1

厚岸町水道事業会計経営分析表(消費税抜)

(単位：円)

項目	計算式	数値
固定資産構成比率	固定資産 / 固定資産＋流動資産＋繰延資産 ×100	1,922,211,065 / 2,099,686,021 ＝ 91.6％
固定負債構成比率	固定負債 / 負債資本合計 ×100	1,050,257,304 / 2,099,134,581 ＝ 50.0％
自己資本構成比率	資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益 / 負債資本合計 ×100	944,729,660 / 2,099,134,581 ＝ 45.0％
固定資産対長期資本比率	固定資産 / 資本金＋剰余金＋評価差額等＋固定負債＋繰延収益 ×100	1,922,211,065 / 1,994,986,964 ＝ 96.4％
固定比率	固定資産 / 資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益 ×100	1,922,211,065 / 944,729,660 ＝ 203.5％
流動比率	流動資産 / 流動負債 ×100	177,474,956 / 104,147,617 ＝ 170.4％
酸性試験比率	現金預金＋(未収金－貸倒引当金) / 流動負債 ×100	165,414,847 / 104,147,617 ＝ 158.8％
現金比率	現金預金 / 流動負債 ×100	135,765,022 / 104,147,617 ＝ 130.4％
自己資本回転率	営業収益－受託工事収益 / (期首自己資本＋期末自己資本)×1/2	255,198,809 / 528,049,823 ＝ 0.5回
固定資産回転率	営業収益－受託工事収益 / (期首固定資産＋期末固定資産)×1/2	255,198,809 / 1,910,711,131 ＝ 0.1回
減価償却率	当年度減価償却額 / 有形固定資産＋無形固定資産－土地－建設仮勘定＋当年度減価償却額 ×100	110,584,182 / 1,984,850,008 ＝ 5.6％
流動資産回転率	営業収益－受託工事収益 / (期首流動資産＋期末流動資産)×1/2	255,198,809 / 177,054,406 ＝ 1.4回
未収金回転率	営業収益－受託工事収益 / (期首未収金＋期末未収金)×1/2	255,198,809 / 29,658,745 ＝ 8.6回
総資本利益率	当年度経常利益 / (期首総資本＋期末総資本)×1/2 ×100	23,874,737 / 2,087,489,816 ＝ 1.1％
総収支比率	総収益 / 総費用 ×100	289,538,698 / 270,166,851 ＝ 107.2％
経常収支比率	経常収益 / 経常費用 ×100	289,538,698 / 270,166,851 ＝ 107.2％
営業収支比率	営業収益－受託工事収益 / 営業費用－受託工事費用 ×100	255,198,809 / 248,729,579 ＝ 102.6％
利子負担率	支払利息＋企業債取扱諸費 / 建設改良の財源に充てるための企業債・長期借入金＋その他の企業債・長期借入金＋一時借入金 ×100	16,648,967 / 1,128,118,639 ＝ 1.5％

厚岸町水道事業会計経営分析表（消費税抜）

（単位：円）

項目	計算式		数値		
企業債元金償還額対減価償却額比率	建設改良のための企業債元金償還金 / 当年度減価償却費－長期前受金戻入	×100	85,203,396 / 98,935,764	＝	86.1 %
職員一人当り営業収益	営業収益－受託工事収益 / 損益勘定所属職員数		255,198,809 / 3	＝	85,066 千円
企業債元金償還金対料金収入比率	建設改良のための企業債元金償還金 / 料金収入（給水収益）	×100	85,203,396 / 255,186,318	＝	33.4 %
企業債利息対料金収入比率	企業債利息 / 料金収入（給水収益）	×100	16,648,967 / 255,186,318	＝	6.5 %
企業債元利償還金対料金収入比率	建設改良のための企業債元利償還金 / 料金収入（給水収益）	×100	101,852,363 / 255,186,318	＝	39.9 %
職員給与費対料金収入比率	職員給与費（特別損失のうちの職員給与費含む） / 料金収入（給水収益）	×100	20,758,196 / 255,186,318	＝	8.1 %
職員一人当り有形固定資産	期末有形固定資産 / 損益勘定所属職員数＋資本勘定所属職員数		1,870,922,187 / 3	＝	623,641 千円
負荷率	一日平均配水量 / 一日最大配水量	×100	3,331 / 3,863	＝	86.2 %
施設利用率	一日平均配水量 / 一日配水能力	×100	3,331 / 6,000	＝	55.5 %
最大稼働率	一日最大配水量 / 一日配水能力	×100	3,863 / 6,000	＝	64.4 %
配水管使用効率（１ｍ当り㎥）	年間総配水量 / 導・送・配水管延長		1,216,091 / 160,547	＝	7.6 ㎥
固定資産使用効率（１万円当り㎥）	年間総配水量 / 有形固定資産（単位万円）		1,216,091 / 187,092	＝	6.5 ㎥
供給単価（１㎥当り円）	給水収益 / 年間総有収水量		255,186,318 / 817,464	＝	312.2 円
給水原価（１㎥当り円）	経常費用－（受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋付帯事業費）－長期前受金戻入 / 年間総有収水量		254,003,052 / 817,464	＝	310.7 円
資本費	減価償却費－長期前受金戻入＋企業債利子＋受水費中の資本費 / 年間総有収水量		115,742,607 / 817,464	＝	141.6 円
職員一人当り給水人口	現在給水人口 / 損益勘定所属職員数		7,753 / 3	＝	2,584 人
〃 給水量	年間総有収水量 / 損益勘定所属職員数		817,464 / 3	＝	272,488 ㎥
有収率	年間総有収水量 / 年間総配水量	×100	817,464 / 1,216,091	＝	67.2 %

令和４年度厚岸町公営企業会計決算審査意見書

１．審査の対象

令和４年度厚岸町病院事業会計決算

２．審査の期間

事前審査　　令和５年６月２３日（金）～７月　７日（金）
内容審査　　令和５年７月２１日（金）　１日間

３．審査のため町長から提出された書類

（１）事業報告書

令和４年度厚岸町病院事業報告書
１　概況
２　工事
３　業務
４　会計

（２）決算報告書

ア　令和４年度厚岸町病院事業決算報告書

（３）財務諸表

ア　令和４年度厚岸町病院事業損益計算書
イ　令和４年度厚岸町病院事業欠損金計算書
ウ　令和４年度厚岸町病院事業欠損金処理計算書
エ　令和４年度厚岸町病院事業貸借対照表

（４）附属明細書

ア　令和４年度厚岸町病院事業キャッシュ･フロー計算書
イ　令和４年度厚岸町病院事業収益費用明細書
ウ　固定資産明細書
エ　企業債明細書
オ　その他決算資料

４．審査の方法

令和４年度厚岸町病院事業会計の決算審査は、提出された事業報告書、決算報告書及び財務諸表等に基づき計数の正確性をただし､関係諸帳簿等の照合を行い、決算諸表の財務状況、経営状況及び予算執行の適否等について内容の説明を求め実施した。

また、貯蔵品については期末たな卸立会検査を実施し確認済みであり、現金・預金についても、例月出納検査を毎月実施しているので対象外とした。

５．審査の結果

審査に付された病院事業会計の事業報告書・決算報告書並びに財務諸表等は、いずれも地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、令和５年３月31日現在における財務状況及び経営成績は適正に表示されているものと認められた。

なお、決算審査の概要は、次のとおりである。

（1）予算の執行状況

ア　収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の決算額については、消費税及び地方消費税抜き額の収入が1,318,440,259円、消費税及び地方消費税込み額の収入で1,326,332,955円となっている。

※　以下、消費税及び地方消費税込み額は(　　)書とし、「消費税及び地方消費税抜き額」と「消費税及び地方消費税込み額」が同じ数値の場合は(同)と記載した。
　また、パーセントは小数点以下第２位を四捨五入しているため、記載数値を合計しても、合計値と一致しないものもある。

支出については 1,297,285,470円(1,298,823,066円)の決算額である。

本年度の収益的収支については、 前年度と比較して収入は 33,561,097円(32,676,047円)、2.6%(2.5%)の増、支出では 2,968,658円(1,769,478円)、0.2%(0.1%) の増となっている。

予算額に対する執行状況は、収入予算額 1,329,654,000円に対し、決算額1,318,440,259円(1,326,332,955円)、99.2%(99.8%)の執行率で、支出は予算額 1,319,654,000円に対し、決算額 1,297,285,470円(1,298,823,066円)、98.3%(98.4%)の執行率となっている。

単年度の収支において 21,154,789円(27,509,889円)の黒字決算となっている。

収　益　的　収　支　の　状　況

（単位：円・%）

区　　分		予　算　額	決　算　額	執　行　率		予算額に比べ決算額の増減及び不用額
				令和３年度	令和４年度	
収入	病院事業収益	1,329,654,000	(1,326,332,955) 1,318,440,259	(99.0) 98.3	(99.8) 99.2	(△ 3,321,045) △ 11,213,741
	医業収益	766,153,000	(794,763,037) 787,397,850	(98.3) 97.2	(103.7) 102.8	(28,610,037) 21,244,850
	医業外収益	563,501,000	(531,569,918) 531,042,409	(100.1) 100.0	(94.3) 94.2	(△ 31,931,082) △ 32,458,591
支出	病院事業費用	1,319,654,000	(1,298,823,066) 1,297,285,470	(98.4) 98.2	(98.4) 98.3	(20,830,934) 22,368,530
	医業費用	1,248,346,000	(1,235,676,120) 1,233,588,284	(98.8) 98.6	(99.0) 98.8	(12,669,880) 14,757,716
	医業外費用	71,008,000	(63,146,946) 63,697,186	(92.8) 92.1	(88.9) 89.7	(7,861,054) 7,310,814
	予備費	300,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(300,000) 300,000
当年度純利益		―	(27,509,889) 21,154,789	―	―	―

イ　資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の決算額は、収入 227,532,350円(同)、支出 220,363,350円(227,532,350円)であり、差引額 7,169,000円(0円)となっている。

予算に対する執行状況は、収入予算額227,533,000円に対し、決算額227,532,350

円(同)で、100%(同)の執行率となっている。

資本的収支における収入は、企業債 35,000,000円（同）、一般会計補助金 151,032,350円(同)、特定防衛施設周辺整備補助金 41,500,000円(同)である。

また、支出は予算額 227,533,000円に対し、決算額 220,363,350円(227,532,350円)で、予算執行率は 96.8%(100%)となっている。

その内容は、建設改良費が 71,690,000円(78,859,000円)で、器械備品購入費 39,790,000円（43,769,000円)、建設工事費 31,900,000円（35,090,000円）に充てられており、企業債償還金は 148,673,350円(同)であるが、企業債の概要は前年度末残高 669,323,813円に対し、本年度末残高は 555,650,463円(本年度借入３件、未償還総件数20件)となっている。

資 本 的 収 支 の 状 況

（単位：円・%）

区分		予算額	決算額	執行率		予算額に比べ決算額の増減及び不用額
				令和３年度	令和４年度	
収入	資本的収入	227,533,000	(227,532,350) 227,532,350	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(△ 650) △ 650
	企業債	35,000,000	(35,000,000) 35,000,000	(－) －	(100.0) 100.0	(0) 0
	補助金	192,533,000	(192,532,350) 192,532,350	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(△ 650) △ 650
支出	資本的支出	227,533,000	(227,532,350) 220,363,350	(100.0) 97.6	(100.0) 96.8	(650) 7,169,650
	建設改良費	78,859,000	(78,859,000) 71,690,000	(100.0) 90.9	(100.0) 90.9	(0) 7,169,000
	企業債償還金	148,674,000	(148,673,350) 148,673,350	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(650) 650
差引額		―	(0) 7,169,000	―	―	―

（2）経営状況

本年度の収益は 1,318,440,259円(1,326,332,955円)、費用は 1,297,285,470円(1,298,823,066円)で、差引額 21,154,789円(27,509,889円)の黒字決算となり、前年度繰越欠損金 652,587,281円に対し、当年度未処理欠損金は 631,432,492円へと減少した。

前年度と比較すると事業収益で 33,561,097円(32,676,047円)の増、事業費用も 2,968,658円(1,769,478円)の増となったが、収益の増加が費用の増加を上回り本年度黒字となっている。

この内訳については、入院収益は 240,994,198円(241,005,612円)、6.8%(同)の減、外来収益は 308,030,725円(308,113,810円)、15.6%(同)の増、その他医業収益は 91,586,652円(98,857,340円)で、6.8%(7.2%)の減、負担金は一般会計負担金(救急医療・保健衛生行政費)で 128,392,275円(同)、浜中町からの「厚岸郡救急医療確保負担金」18,394,000円(同)、計 146,786,275円(同)、3.8%(同)の減となっており、医業外収益については、道補助金で、感染症病床確保促進事業費補助金 18,034,000円（同)、医療・介護・障がい施設等物価高騰対策支援金 660,000円（同）の合計 18,694,000円（同）のほか、減収

分を一般会計からの繰入金で補ったため、医業外収益全体で 531,042,409円(531,569,918円)、前年度と比較して 22,064,744円 (22,139,899円)、4.3%(同)の増となっている。

費用については、医業費用で 1,233,588,284円(1,235,676,120円)、1.0%(同)の増、医業外費用は 63,697,186円(63,146,946円)、13.2%(14.6%)の減となっており、この内訳については、医業費用で給与費781,056,758円(781,095,924円)、0.6%(同)の減、材料費 118,005,895円(118,091,778円)、5.8%(同)の増、経費 247,690,880円(249,636,257円)、2.1%(同)の増、減価償却費 79,434,885円(同)、5.2%(同)の増、資産減耗費 5,458,720円(同)、37.5%(同)の増、研究研修費 1,941,146円(1,958,556円)、43.7%(同)の増となっている。

医業外費用では、支払利息及び企業債取扱諸費 17,583,579円(同)、22.2%(同)の減のほか、新型コロナウイルスワクチン接種や医師・看護師の退職等に伴う診療体制の確保をするための医療技術員確保対策費 23,583,413円(23,794,788円)、29.5%(同)の減、雑損費 22,530,194円(16,938,679円)、29.7%(18.5%)の増という内容となっている。

経　営　成　績　の　推　移

(単位：円・%)

年度	収益 (A)			費用 (B)			差引
	金額	前年比	指数	金額	前年比	指数	(A) − (B)
平成24年度	(1,159,570,458)	(−)	(100.0)	(1,151,384,405)	(−)	(100.0)	(8,186,053)
	1,157,273,337	−	100.0	1,153,495,334	−	100.0	3,778,003
平成25年度	(1,130,257,359)	(△ 2.5)	(97.5)	(1,121,780,525)	(△ 2.6)	(97.4)	(8,476,834)
	1,127,120,758	△ 2.6	97.4	1,124,238,074	△ 2.5	97.5	2,882,684
平成26年度	(1,156,547,880)	(2.3)	(99.7)	(1,445,197,088)	(28.8)	(125.5)	(△ 288,649,208)
	1,151,750,127	2.2	99.5	1,448,664,251	28.9	125.6	△ 296,914,124
平成27年度	(1,219,133,784)	(5.4)	(105.1)	(1,167,005,282)	(△ 19.2)	(101.4)	(52,128,502)
	1,214,144,964	5.4	104.9	1,172,307,214	△ 19.1	101.6	41,837,750
平成28年度	(1,241,877,878)	(1.9)	(107.1)	(1,203,653,397)	(3.1)	(104.5)	(38,224,481)
	1,236,670,183	1.9	106.9	1,200,848,028	2.4	104.1	35,822,155
平成29年度	(1,269,963,477)	(2.3)	(109.5)	(1,221,119,913)	(1.5)	(106.1)	(48,843,564)
	1,264,907,519	2.3	109.3	1,219,789,882	1.6	105.7	45,117,637
平成30年度	(1,244,782,651)	(△ 2.0)	(107.3)	(1,198,574,154)	(△ 1.8)	(104.1)	(46,208,497)
	1,239,851,265	△ 2.0	107.1	1,196,217,668	△ 1.9	103.7	43,633,597
令和元年度	(1,206,749,112)	(△ 3.1)	(104.1)	(1,183,370,335)	(△ 1.3)	(102.8)	(23,378,777)
	1,201,259,511	△ 3.1	103.8	1,183,255,654	△ 1.1	102.6	18,003,857
令和2年度	(1,209,288,578)	(0.2)	(104.3)	(1,212,158,547)	(2.4)	(105.3)	(△ 2,869,969)
	1,203,698,901	0.2	104.0	1,211,303,970	2.4	105.0	△ 7,605,069
令和3年度	(1,293,656,908)	(7.0)	(111.6)	(1,297,053,588)	(7.0)	(112.7)	(△ 3,396,680)
	1,284,879,162	6.7	111.0	1,294,316,812	6.9	112.2	△ 9,437,650
令和4年度	(1,326,332,955)	(2.5)	(114.4)	(1,298,823,066)	(0.1)	(112.8)	(27,509,889)
	1,318,440,259	2.6	113.9	1,297,285,470	0.2	112.5	21,154,789

注：指数は、平成２４年度を100とした数値

診療体制については、令和４年４月から新たに内科医師１名を加え、内科医師２名、外科医師１名、小児科医師１名の常勤医師４名のほか、定期支援内科医師１名を加え５名体制での診療となっている。専門外来診療では消化器検査診療のほか、釧路赤十字病院による整形外科診療、釧路労災病院による脳神経外科診療の定期診療を毎週１回維持してきた。病院経営において医師医療体制の確保充実が何よりも重要であることから、診療収益に直結する常勤医師の確保とともに看護師など医療従事者の一層の充実と体制維持を図られたい。

病床については、平成24年度から一般病床の55床を継続しており、本年度の

病床利用率は51.0％となっている。

年度末の職員数については、医師４人、看護師38人、医療技術員20人、事務員９人、技術員４人、労務員20人の合計95人(正職員71人､会計年度任用職員24人)の体制となっている。

患者数については､入院患者では年間延べ数 10,236人､１日平均 28.0人で、前年度と比較するとそれぞれ 1,267人、3.5人の減となっている。

また、外来患者では年間延べ数 36,674人で、１日平均 150.9人、前年度と比較するとそれぞれ 330人、2.0人の減となっている。

入院患者１人当たり１日平均収入は 23,544円(23,545円)で､前年度に比較して1,070円(1,071円)の増、外来患者１人当たりについては 8,399円(8,401円)で、前年度に比較して1,197円(同)の増となっている。

業　務　量　（ 患 者 数 ）

＜入院患者数＞　　（単位：人）

区　　分	令和３年度（A）		令和４年度（B）		差引（B）－（A）	
	延べ数	１日平均	延べ数	１日平均	延べ数	１日平均
内　　科	8,851	24.2	8,694	23.8	△ 157	△ 0.4
外　　科	2,649	7.3	1,539	4.2	△ 1,110	△ 3.1
小　児　科	3	0.0	3	0.0	0	0.0
合　　計	11,503	31.5	10,236	28.0	△ 1,267	△ 3.5

＊入院延日数　：　本年度　３６５日　　前年度　３６５日

＜外来患者数＞　　（単位：人）

区　　分	令和３年度（A）		令和４年度（B）		差引（B）－（A）	
	延べ数	１日平均	延べ数	１日平均	延べ数	１日平均
内　　科	23,665	97.8	23,154	95.3	△ 511	△ 2.5
外　　科	4,347	17.9	4,254	17.5	△ 93	△ 0.4
整形外科	3,478	14.4	3,327	13.7	△ 151	△ 0.7
小　児　科	4,819	19.9	5,281	21.7	462	1.8
脳神経外科	695	2.9	658	2.7	△ 37	△ 0.2
合　　計	37,004	152.9	36,674	150.9	△ 330	△ 2.0

＊外来延日数　：　本年度　２４３日　　前年度　２４２日

＜病床利用状況＞

区　　分	一般病床		備考
	３年度	４年度	
病床数（床）	55	55	
年延病床数(床)	20,075	20,075	
年延入院患者数(人)	11,503	10,236	
病床利用率(％)	57.3	51.0	

ア　収益

病院事業収益は 1,318,440,259円(1,326,332,955円)で、前年度と比較して 33,561,097円(32,676,047円)、2.6%(2.5%)の増となっている。

本年度は、入院、外来ともに前年度を下回る患者数となったが、外来収益は新型コロナウイルス感染症に伴う検査料や診療報酬加算による診療単価増により前年度より増え、医業収益のうち入院と外来を合わせた収益は前年度より23,997,285円(24,016,490円) 増となっており、また、一般病棟での新型コロナウイルス感染症患者の受入対応に伴う感染症病床確保促進事業費補助金の交付を受けるなど、昨年度より病院事業収益は増額となっているが、燃油価格や物価の高騰に加え、医療提供体制を維持するための費用が増加したことなどにより、最終的には一般会計からの繰入金は前年度と同額となっている。

医業収益は収益全体の59.7%(59.9%)を占め、その額は 787,397,850円(794,763,037円)で、前年度に比較して 11,496,353円(10,536,148円)、1.5%(1.3%)の増となっている。

医業外収益は 531,042,409円(531,569,918円)であり、前年度に比較して22,064,744円(22,139,899円)、4.3%(同)の増となっている。

収　益　の　内　訳

(単位：円・%)

区分		令和３年度（A）		令和４年度（B）		差引（B）－（A）	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
医業収益	入院収益	(258,518,653)	(20.0)	(241,005,612)	(18.2)	(△ 17,513,041)	(△ 6.8)
		258,518,270	20.1	240,994,198	18.3	△ 17,524,072	△ 6.8
	外来収益	(266,584,279)	(20.6)	(308,113,810)	(23.2)	(41,529,531)	(15.6)
		266,509,368	20.7	308,030,725	23.4	41,521,357	15.6
	その他医業収益	(106,570,957)	(8.2)	(98,857,340)	(7.5)	(△ 7,713,617)	(△ 7.2)
		98,320,859	7.7	91,586,652	6.9	△ 6,734,207	△ 6.8
	負担金	(152,553,000)	(11.8)	(146,786,275)	(11.1)	(△ 5,766,725)	(△ 3.8)
		152,553,000	11.9	146,786,275	11.1	△ 5,766,725	△ 3.8
	小計	(784,226,889)	(60.6)	(794,763,037)	(59.9)	(10,536,148)	(1.3)
		775,901,497	60.4	787,397,850	59.7	11,496,353	1.5
医業外収益	患者外給食収益	(1,725,340)	(0.1)	(1,728,040)	(0.1)	(2,700)	(0.2)
		1,568,491	0.1	1,570,945	0.1	2,454	0.2
	長期前受金戻入	(77,901,645)	(6.0)	(84,134,832)	(6.3)	(6,233,187)	(8.0)
		77,901,645	6.1	84,134,832	6.4	6,233,187	8.0
	その他医業外収益	(5,953,602)	(0.5)	(5,546,671)	(0.4)	(△ 406,931)	(△ 6.8)
		5,658,029	0.4	5,176,229	0.4	△ 481,800	△ 8.5
	他会計補助金	(108,792,000)	(8.4)	(122,728,884)	(9.3)	(13,936,884)	(12.8)
		108,792,000	8.5	122,728,884	9.3	13,936,884	12.8
	他会計負担金	(294,247,432)	(22.7)	(277,846,491)	(20.9)	(△ 16,400,941)	(△ 5.6)
		294,247,432	22.9	277,846,491	21.1	△ 16,400,941	△ 5.6
	負担金交付金	(20,810,000)	(1.6)	(20,891,000)	(1.6)	81,000	(0.4)
		20,810,000	1.6	20,891,000	1.6	81,000	0.4
	雑収益	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)	(0)	(－)
		68	0.0	28	0.0	△ 40	△ 58.8
	道補助金	(0)	(0.0)	(18,694,000)	(1.4)	(18,694,000)	(皆増)
		0	0.0	18,694,000	1.4	18,694,000	皆増
	小計	(509,430,019)	(39.4)	(531,569,918)	(40.1)	(22,139,899)	(4.3)
		508,977,665	39.6	531,042,409	40.3	22,064,744	4.3
計		(1,293,656,908)	(100.0)	(1,326,332,955)	(100.0)	(32,676,047)	(2.5)
		1,284,879,162	100.0	1,318,440,259	100.0	33,561,097	2.6

イ　費用

事業費用は 1,297,285,470円(1,298,823,066円)で、前年度と比較して2,968,658円(1,769,478円)、0.2%(0.1%)の増となっている。

医業費用は 1,233,588,284円(1,235,676,120円)で、前年度と比較して12,664,327円(12,569,138円)、1.0%(同)の増となっている。

医業外費用は 63,697,186円(63,146,946円)で、前年度と比較して9,695,669円(10,799,660円)、13.2%(14.6%)の減となっており、支払利息及び企業債取扱諸費、医療技術員確保対策費が減となっている。

費　用　の　内　訳

(単位：円・%)

区分		令和３年度（A）		令和４年度（B）		差引（B）－（A）	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
医業費用	給与費	(786,141,183)	(60.6)	(781,095,924)	(60.1)	(△ 5,045,259)	(△ 0.6)
		786,101,324	60.7	781,056,758	60.2	△ 5,044,566	△ 0.6
	材料費	(111,621,379)	(8.6)	(118,091,778)	(9.1)	(6,470,399)	(5.8)
		111,538,226	8.6	118,005,895	9.1	6,467,669	5.8
	経費	(244,525,654)	(18.9)	(249,636,257)	(19.2)	(5,110,603)	(2.1)
		242,478,591	18.7	247,690,880	19.1	5,212,289	2.1
	減価償却費	(75,484,898)	(5.8)	(79,434,885)	(6.1)	(3,949,987)	(5.2)
		75,484,898	5.8	79,434,885	6.1	3,949,987	5.2
	資産減耗費	(3,970,550)	(0.3)	(5,458,720)	(0.4)	(1,488,170)	(37.5)
		3,970,550	0.3	5,458,720	0.4	1,488,170	37.5
	研究研修費	(1,363,318)	(0.1)	(1,958,556)	(0.2)	(595,238)	(43.7)
		1,350,368	0.1	1,941,146	0.1	590,778	43.7
	小計	(1,223,106,982)	(94.3)	(1,235,676,120)	(95.1)	(12,569,138)	(1.0)
		1,220,923,957	94.3	1,233,588,284	95.1	12,664,327	1.0
医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	(22,594,231)	(1.7)	(17,583,579)	(1.4)	(△ 5,010,652)	(△ 22.2)
		22,594,231	1.7	17,583,579	1.4	△ 5,010,652	△ 22.2
	医療技術員確保対策費	(33,750,823)	(2.6)	(23,794,788)	(1.8)	(△ 9,956,035)	(△ 29.5)
		33,430,530	2.6	23,583,413	1.8	△ 9,847,117	△ 29.5
	雑損費	(14,292,052)	(1.1)	(16,938,679)	(1.3)	(2,646,627)	(18.5)
		17,368,094	1.3	22,530,194	1.7	5,162,100	29.7
	消費税及び地方消費税	(3,309,500)	(0.3)	(4,829,900)	(0.4)	(1,520,400)	(45.9)
		0	0.0	0	0.0	0	－
	小計	(73,946,606)	(5.7)	(63,146,946)	(4.9)	(△ 10,799,660)	(△ 14.6)
		73,392,855	5.7	63,697,186	4.9	△ 9,695,669	△ 13.2
計		(1,297,053,588)	(100.0)	(1,298,823,066)	(100.0)	(1,769,478)	(0.1)
		1,294,316,812	100.0	1,297,285,470	100.0	2,968,658	0.2

（3）財政状況

ア　固定資産

固定資産の当年度末現在高は 1,906,001,559円で、前年度に比較して13,193,885円、0.7%の減となっており、建物、構築物及び車両の減によるものである。

イ　流動資産

流動資産の当年度末現在高は 149,886,501円であり、前年度に比較して1,239,583円、0.8％の増となっている。

この内訳は、現金預金 4,657,607円の減、未収金 5,650,546円の増、本年度の未収金 122,268,762円のうち、医業未収金は 103,809,195円で、入院保険診療未収金の令和４年度２月及び３月分 43,388,211円、同じく外来保険診療未収金 49,955,848円、令和４年度一部負担金未収金 9,007,909円（うち入院一部負担金未収金 976,400円、外来一部負担金未収金 8,031,509円）、令和３年度以前の未収金 1,457,227円、医業外未収金が 18,459,567円となっている。

なお、過年度分未収金については、前年度 1,520,227円に比べ 63,000円減額となっているが、今後においても未収金情報の共有化等による対策の強化を望むものである。

ウ　固定負債

本年度の固定負債年度末現在高は 392,288,876円であり、前年度に比較して 128,361,587円、24.7％の減となっている。

この内訳は全て企業債 392,288,876円である。

エ　流動負債

流動負債の本年度末現在高は 279,025,243円で、前年度に比較して13,145,022円、4.5％の減となっている。

この内訳は、一時借入金 10,000,000円の減、企業債 14,688,237円の増、未払金 11,597,840円の減、賞与引当金 5,476,273円の減、預り金 759,146円の減である。

オ　繰延収益

本年度においては、長期前受金 3,813,464,606円から長期前受金収益化累計額 1,853,549,996円を差し引いた額が繰延収益 1,959,914,610円となっている。

カ　資本金

資本金の増減はなく、本年度末現在高は 56,091,823円である。

キ　剰余金

本年度決算における剰余金の当年度末現在高は、△631,432,492円となり、前年度に比較して 21,154,789円、3.2％累積欠損金の減額となる。

なお、病院事業比較損益計算書、病院事業比較貸借対照表の前年度比較は、資料第１表及び資料第２表のとおりである。

（４）むすび

以上、令和４年度厚岸町病院事業会計決算における内容の確認と諸係数の審査を実施したところであるが、総体的に次のとおり審査意見を申し上げる。

厚岸町病院事業会計については令和元年度終盤から惹起した新型コロナウイルスの感染拡大の影響を全面的に受けて受診控えなどによる患者数の大幅な減少に苦慮しつつも、公的病院として医師や看護師その他医療従事者の確保と総合診療体制の維持、各種の経営改善などに取り組んできたところである。

令和４年度決算としては、入院、外来ともに患者数が前年度を下回ったにもかかわらず、とりわけ外来のコロナ関連の診療単価及び件数が伸びて医業収益全体を好転させ、医業外収益としてのコロナ関連の道補助金もあって事業収益全体が堅調に推移した一方、経費面では常勤医などの安定的確保によりコロナ対策関連人件費の縮減が図れたため燃料費や光熱水費の一般運営経費など諸々の医業費用が増額となっても、事業費用全体としてほぼ前年度並みにて推移し、不良債務も発生せず、最終的には３年ぶりに２，１００万円ほどの黒字決算となったところである。

なお、今後についても厚岸町全体の人口減少が着実に進行し、受診患者数及び医業収益の大幅な増加が見込めず、更にはコロナ感染症対策などの新たな費用需要が生じることで基本的な企業経営収支が悪化することも十分に想定されることから、令和５年度を始期とする５カ年計画「町立厚岸病院経営強化プラン」に沿って今後の町立病院の経営強化を図るとともに、厚岸町として町立病院の役割と存在意義を十分に検証し政策的配慮と安定的な補助体制を確実なものとしていくことが喫緊の最重要課題となっている。その際にもただやみくもに収益性のみを追求するばかりに肝心の町民サービスや文字通りのホスピタリテイと町民生活満足度が著しく低下することのないよう一般会計との緊密な協議連携関係をもって対処されたい。決算書の病院事業報告書冒頭に記載の通り、町民の命と健康を支える中核的な医療機関として基本診療体制、定期診療体制及び２４時間救急医療体制を維持し、患者と共に進める患者目線の医療の推進を期待するものである。

資料第１表

病院事業比較損益計算書

（単位：円・％）

項　　目	令和３年度（Ａ）		令和４年度（Ｂ）		差引（Ｂ）－（Ａ）	
	決　算　額	構成比	決　算　額	構成比	増　減	増減率
１医業収益	(784,226,889)	(100.0)	(794,763,037)	(100.0)	(10,536,148)	(1.3)
	775,901,497	100.0	787,397,850	100.0	11,496,353	1.5
(1) 入院収益	(258,518,653)	(33.0)	(241,005,612)	(30.3)	(△ 17,513,041)	(△ 6.8)
	258,518,270	33.3	240,994,198	30.6	△ 17,524,072	△ 6.8
(2) 外来収益	(266,584,279)	(34.0)	(308,113,810)	(38.8)	(41,529,531)	(15.6)
	266,509,368	34.3	308,030,725	39.1	41,521,357	15.6
(3) その他医業収益	(106,570,957)	(13.6)	(98,857,340)	(12.4)	(△ 7,713,617)	(△ 7.2)
	98,320,859	12.7	91,586,652	11.6	△ 6,734,207	△ 6.8
(4) 負担金	(152,553,000)	(19.5)	(146,786,275)	(18.5)	(△ 5,766,725)	(△ 3.8)
	152,553,000	19.7	146,786,275	18.6	△ 5,766,725	△ 3.8
２医業費用	(1,223,106,982)	(100.0)	(1,235,676,120)	(100.0)	(12,569,138)	(1.0)
	1,220,923,957	100.0	1,233,588,284	100.0	12,664,327	1.0
(1) 給与費	(786,141,183)	(64.3)	(781,095,924)	(63.2)	(△ 5,045,259)	(△ 0.6)
	786,101,324	64.4	781,056,758	63.3	△ 5,044,566	△ 0.6
(2) 材料費	(111,621,379)	(9.1)	(118,091,778)	(9.6)	(6,470,399)	(5.8)
	111,538,226	9.1	118,005,895	9.6	6,467,669	5.8
(3) 経費	(244,525,654)	(20.0)	(249,636,257)	(20.2)	(5,110,603)	(2.1)
	242,478,591	19.9	247,690,880	20.1	5,212,289	2.1
(4) 減価償却費	(75,484,898)	(6.2)	(79,434,885)	(6.4)	(3,949,987)	(5.2)
	75,484,898	6.2	79,434,885	6.4	3,949,987	5.2
(5) 資産減耗費	(3,970,550)	(0.3)	(5,458,720)	(0.4)	(1,488,170)	(37.5)
	3,970,550	0.3	5,458,720	0.4	1,488,170	37.5
(6) 研究研修費	(1,363,318)	(0.1)	(1,958,556)	(0.2)	(595,238)	(43.7)
	1,350,368	0.1	1,941,146	0.2	590,778	43.7
差引（１－２）	(△ 438,880,093)	(－)	(△ 440,913,083)	(－)	(△ 2,032,990)	(－)
	△ 445,022,460	－	△ 446,190,434	－	△ 1,167,974	－
３医業外収益	(509,430,019)	(100.0)	(531,569,918)	(100.0)	(22,139,899)	(4.3)
	508,977,665	100.0	531,042,409	100.0	22,064,744	4.3
(1) 患者外給食収益	(1,725,340)	(0.3)	(1,728,040)	(0.3)	(2,700)	(0.2)
	1,568,491	0.3	1,570,945	0.3	2,454	0.2
(2) 長期前受金戻入	(77,901,645)	(15.3)	(84,134,832)	(15.8)	(6,233,187)	(8.0)
	77,901,645	15.3	84,134,832	15.8	6,233,187	8.0
(3) その他医業外収益	(5,953,602)	(1.2)	(5,546,671)	(1.0)	(△ 406,931)	(△ 6.8)
	5,658,029	1.1	5,176,229	1.0	△ 481,800	△ 8.5
(4) 他会計補助金	(108,792,000)	(21.4)	(122,728,884)	(23.1)	(13,936,884)	(12.8)
	108,792,000	21.4	122,728,884	23.1	13,936,884	12.8
(5) 他会計負担金	(294,247,432)	(57.8)	(277,846,491)	(52.3)	(△ 16,400,941)	(△ 5.6)
	294,247,432	57.8	277,846,491	52.3	△ 16,400,941	△ 5.6
(6) 負担金交付金	(20,810,000)	(4.1)	(20,891,000)	(3.9)	(81,000)	(0.4)
	20,810,000	4.1	20,891,000	3.9	81,000	0.4
(7) 雑収益	(0)	(－)	(0)	(－)	(0)	(－)
	68	0.0	28	0.0	△ 40	△ 58.8
(8) 道補助金	(0)	(0.0)	(18,694,000)	(3.5)	(18,694,000)	(皆増)
	0	0.0	18,694,000	3.5	18,694,000	皆増
４医業外費用	(73,946,606)	(100.0)	(63,146,946)	(100.0)	(△ 10,799,660)	(△ 14.6)
	73,392,855	100.0	63,697,186	100.0	△ 9,695,669	△ 13.2
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	(22,594,231)	(30.6)	(17,583,579)	(27.8)	(△ 5,010,652)	(△ 22.2)
	22,594,231	30.8	17,583,579	27.6	△ 5,010,652	△ 22.2
(2) 医療技術員確保対策費	(33,750,823)	(45.6)	(23,794,788)	(37.7)	(△ 9,956,035)	(△ 29.5)
	33,430,530	45.6	23,583,413	37.0	△ 9,847,117	△ 29.5
(3) 雑損費	(14,292,052)	(19.3)	(16,938,679)	(26.8)	(2,646,627)	(18.5)
	17,368,094	23.7	22,530,194	35.4	5,162,100	29.7
(4) 消費税及び地方消費税	(3,309,500)	(4.5)	(4,829,900)	(7.6)	(1,520,400)	(45.9)
	0	－	0	－	0	－
差引（３－４）	(435,483,413)	(－)	(468,422,972)	(－)	(32,939,559)	(－)
	435,584,810	－	467,345,223	－	31,760,413	－
当年度純利益（△純損失）	(△ 3,396,680)	(－)	(27,509,889)	(－)	(30,906,569)	(－)
	△ 9,437,650	－	21,154,789	－	30,592,439	－

資料第２表

病院事業比較貸借対照表（消費税抜）

（単位：円・％）

項目	令和３年度（A）		令和４年度（B）		差引（B）－（A）	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
1 固定資産	1,919,195,444	92.8	1,906,001,559	92.7	△ 13,193,885	△ 0.7
(1) 土地	7,880,000	0.4	7,880,000	0.4	0	0.0
(2) 建物	1,559,179,745	75.4	1,534,682,871	74.6	△ 24,496,874	△ 1.6
(3) 構築物	65,381,141	3.2	63,403,980	3.1	△ 1,977,161	△ 3.0
(4) 器械備品	181,870,440	8.8	195,853,490	9.5	13,983,050	7.7
(5) 車両	3,575,102	0.2	2,872,202	0.1	△ 702,900	△ 19.7
(6) 減損損失累計額	14,162,454	0.7	14,162,454	0.7	0	0.0
(7) 前払退職手当組合負担金	115,471,470	5.6	115,471,470	5.6	0	0.0
2 流動資産	148,646,918	7.2	149,886,501	7.3	1,239,583	0.8
(1) 現金預金	17,544,717	0.8	12,887,110	0.6	△ 4,657,607	△ 26.5
(2) 未収金	116,618,216	5.6	122,268,762	5.9	5,650,546	4.8
(3) 貯蔵品	14,483,985	0.7	14,730,629	0.7	246,644	1.7
資産合計	2,067,842,362	100.0	2,055,888,060	100.0	△ 11,954,302	△ 0.6
3 固定負債	520,650,463	25.2	392,288,876	19.1	△ 128,361,587	△ 24.7
(1) 企業債	520,650,463	25.2	392,288,876	19.1	△ 128,361,587	△ 24.7
4 流動負債	292,170,265	14.1	279,025,243	13.6	△ 13,145,022	△ 4.5
(1) 一時借入金	40,000,000	1.9	30,000,000	1.5	△ 10,000,000	△ 25.0
(2) 企業債	148,673,350	7.2	163,361,587	7.9	14,688,237	9.9
(3) 未払金	50,768,655	2.5	39,170,815	1.9	△ 11,597,840	△ 22.8
(4) 賞与引当金	45,698,000	2.2	40,221,727	2.0	△ 5,476,273	△ 12.0
(5) 預り金	7,030,260	0.3	6,271,114	0.3	△ 759,146	△ 10.8
5 繰延収益	1,851,517,092	89.5	1,959,914,610	95.3	108,397,518	5.9
(1) 長期前受金	3,620,932,256	175.1	3,813,464,606	185.5	192,532,350	5.3
(2) 長期前受金収益化累計額	1,769,415,164	85.6	1,853,549,996	90.2	84,134,832	4.8
6 資本金	56,091,823	2.7	56,091,823	2.7	0	0.0
(1) 自己資本金	56,091,823	2.7	56,091,823	2.7	0	0.0
7 剰余金	△ 652,587,281	△ 31.6	△ 631,432,492	△ 30.7	21,154,789	△ 3.2
(1) 利益剰余金	△ 652,587,281	△ 31.6	△ 631,432,492	△ 30.7	21,154,789	△ 3.2
当年度未処理欠損金	652,587,281	31.6	631,432,492	30.7	△ 21,154,789	△ 3.2
負債・資本合計	2,067,842,362	100.0	2,055,888,060	100.0	△ 11,954,302	△ 0.6

令和４年度　経 営 分 析（ 消費税抜 ）

（単位：千円）

項　　目	比　率	算　　式		
固定資産構成比率	92.7 %	固定資産 / 固定資産＋流動資産	×100	1,906,002 / 2,055,888
自己資本構成比率	67.3 %	資本金＋剰余金＋繰延収益 / 負債・資本合計	×100	1,384,574 / 2,055,888
固定比率	137.7 %	固定資産 / 資本金＋剰余金＋繰延収益	×100	1,906,002 / 1,384,574
固定負債構成比率	19.1 %	固定負債 / 負債・資本合計	×100	392,289 / 2,055,888
流動比率	53.7 %	流動資産 / 流動負債	×100	149,886 / 279,025
現金比率	4.6 %	現金・預金 / 流動負債	×100	12,887 / 279,025
自己資本回転率	0.6 回	医業収益＋補助金（救急＋保健衛生） / （期首自己資本金＋期末自己資本金）×1/2		787,398 / 1,319,798
固定資産回転率	0.4 回	医業収益＋補助金（救急＋保健衛生） / （期首固定資産＋期末固定資産）×1/2		787,398 / 1,912,599
流動資産回転率	5.3 回	医業収益＋補助金（救急＋保健衛生） / （期首流動資産＋期末流動資産）×1/2		787,398 / 149,267
未収金回転率	6.6 回	医業収益＋補助金（救急＋保健衛生） / （期首未収金＋期末未収金）×1/2		787,398 / 119,444
経常収支比率	101.6 %	経常収益 / 経常費用	×100	1,318,440 / 1,297,285
医業収支比率	63.8 %	医業収益＋補助金（救急＋保健衛生） / 医業費用	×100	787,398 / 1,233,588
利子負担率	3.0 %	支払利息＋企業債取扱諸費 / 建設改良等の財源に充てるための企業債+その他の企業債+一時借入金+リース債務	×100	17,584 / 585,650
累積欠損金比率	80.2 %	累積欠損金 / 医業収益＋補助金（救急＋保健衛生）	×100	631,432 / 787,398
不良債務比率	△ 3.1 %	（流動負債－建設改良費等の財源に充てるための企業債）－流動資産 / 医業収益＋補助金（救急＋保健衛生）	×100	△ 24,747 / 787,398
企業債償還元金対医業収益比率	18.9 %	企業債償還元金 / 医業収益＋補助金（救急＋保健衛生）	×100	148,673 / 787,398
企業債利息対医業収益比率	2.2 %	企業債利息 / 医業収益＋補助金（救急＋保健衛生）	×100	17,488 / 787,398
支払利息対医業収益比率	2.2 %	支払利息 / 医業収益＋補助金（救急＋保健衛生）	×100	17,584 / 787,398
職員給与費対医業収益比率	99.2 %	職員給与費 / 医業収益＋補助金（救急＋保健衛生）	×100	781,056 / 787,398
病床利用率	51.0 %	年間延入院患者数 / 年間延病床数	×100	10,236 / 20,075
１日平均患者数（入院）	28.0 人	年間延入院患者数 / 診療日数		10,236 / 365
１日平均患者数（外来）	150.9 人	年間延外来患者数 / 診療日数		36,674 / 243
患者１人１日あたり診療収入(入院)	23,544 円	入院収入 / 年間延入院患者数	×1000	240,994 / 10,236
患者１人１日あたり診療収入(外来)	8,399 円	外来収入 / 年間延外来患者数	×1000	308,031 / 36,674
患者１人あたり費用(入院・外来 延)	27,655 円	総費用 / 年間延入院患者数＋年間延外来患者数	×1000	1,297,285 / 46,910
職員１人あたり医業収益	8,219 千円	医業収益＋補助金（救急＋保健衛生） / 職員数		787,398 / 95.8
患者１人１日あたり薬品費	1,049 円	薬品費 / 年間延入院患者数＋年間延外来患者数	×1000	49,185 / 46,910
薬品使用効率	96.6 %	薬品収入 / 薬品費	×100	47,490 / 49,185
修正医業収支比率	53.4 %	医業収益－他会計負担金 / 医業費用	×100	659,006 / 1,233,588